

## 沖繩議員懇会長 シュワブを視察

軟弱地盤などで追及姿勢

野党国会議員で構成する

「沖繩等米軍基地問題議員

懇談会」の近藤昭一会長(衆

院議員)と藤田幸久会長代

行(参院議員)は26日、名

護市辺野古の米軍キャンプ

・シュワブを視察した。

埋め立て予定海域の軟弱

地盤の調査結果や護岸の高

さなどに関して、視察に同

行した沖繩防衛局職員に質

問した。近藤会長は「藻場

や軟弱地盤など、議員懇で

さらに詰めていきたい」と

述べ、今後も追及する姿勢

を示した。

視察内容を説明した近藤

会長は「(軟弱地盤は)2

年前の調査結果をなせいま

だに出さないのが」と憤っ

た。設置した浮具(フロー

ト)でジユゴンの藻場が制

限されることに、防衛局職

員は「ジユゴンの藻場は大

浦湾の先で、ここ(現在の

位置)に設置しても問題は

ない」と説明したという。

現在4層の高さがある護

岸で、高波で海を汚す可能

性に関して、防衛局は「海

中にカーテンを敷いて、防

砂シートもあるので汚濁が

外に出ることはない」と答

えたという。